

漁海況情報

平成 28 年 12 月 6 日 第 17 号 (通巻 598 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

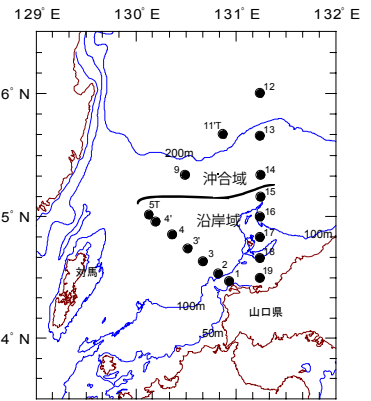
TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【かいせいによる海洋観測】

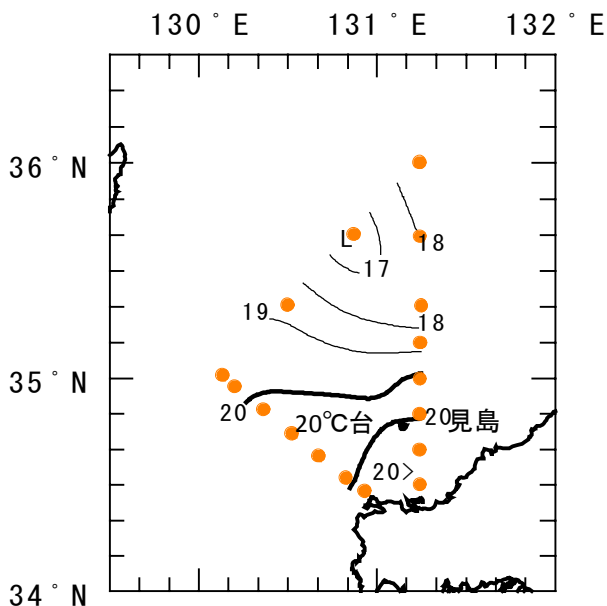
12月2~3日に漁業調査船「かいせい」で海洋観測を実施しました。

今月の水温は、沿岸域、沖合域ともに高めでした。50m 深では沿岸域、沖合域ともに「かなり高め」で、100m 深では沿岸域は「やや高め」、沖合域は「平年並み」でした。平年とは 30 年間(1981~2010 年)の平均値のことです。



海洋観測点

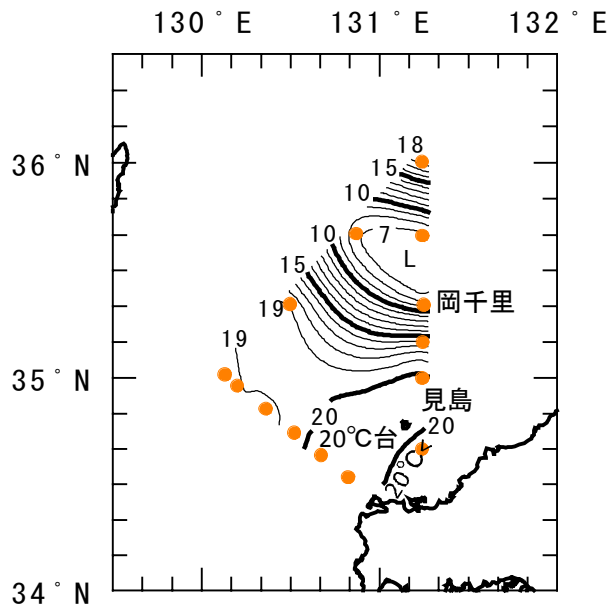
【50m 深水温分布】



冷水の影響がみられず、沖合域、沿岸域ともに「かなり高め」となりました。

沖合域では前月よりも 1~2°C 下がり 16~20°C 台を示し「かなり高め」でした。沿岸域では 19~20°C 台を示し「かなり高め」でした。見島周辺では前月よりも約 1°C 下がり 19~20°C 台でした。

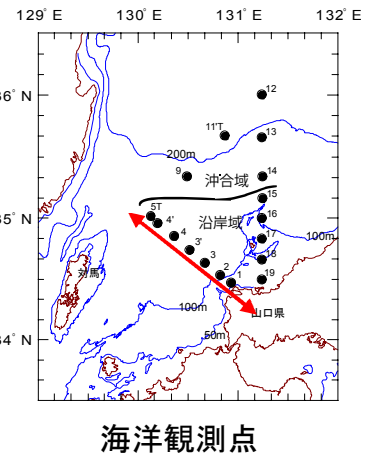
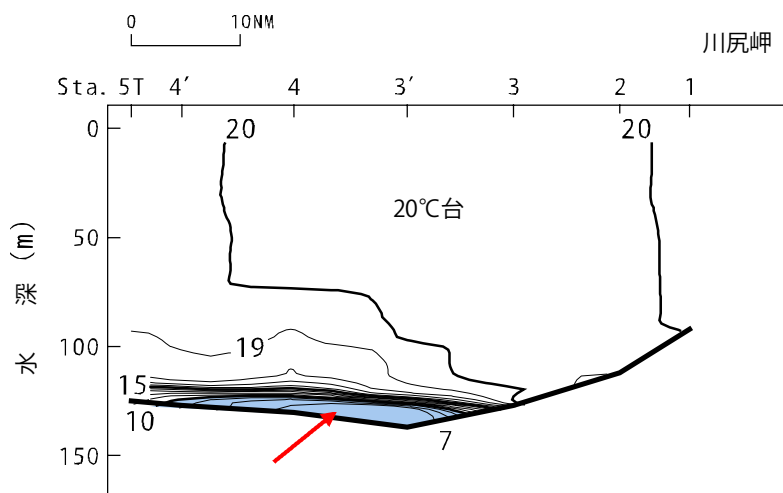
【100m 深水温分布】



沖合の冷水は、岡千里の北側に孤立して分布していました。

沖合域では 6~19°C 台で「平年並み」、沿岸域では 19~21°C 台を示し「やや高め」でした。見島周辺では 19~20°C 台でした。

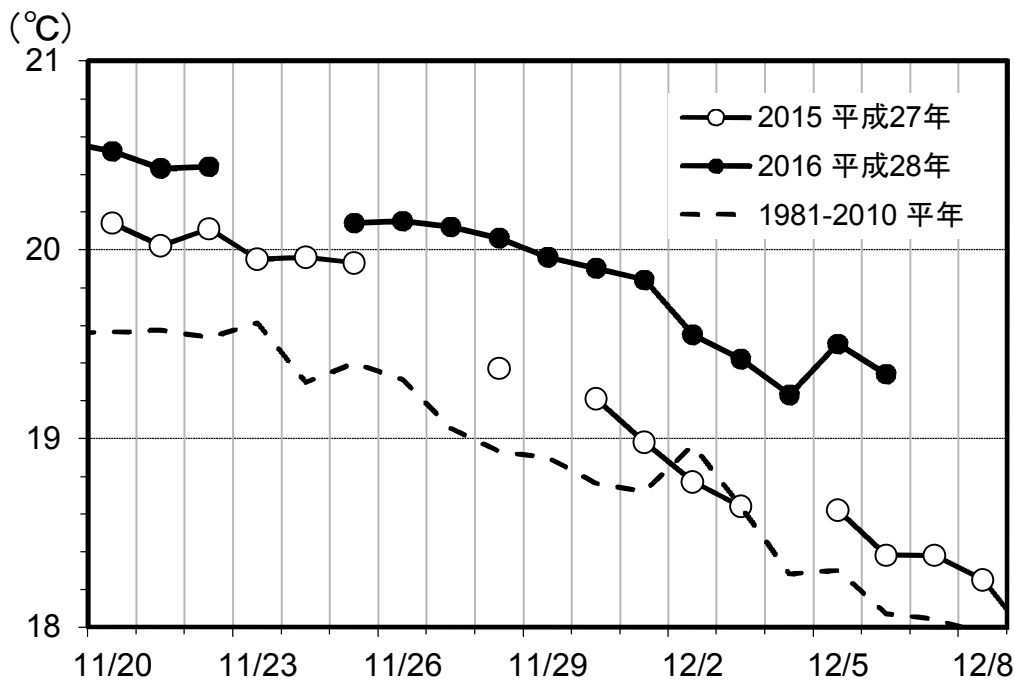
【川尻岬北西沖観測線における水温断面】



川尻岬北西沖観測線（Sta. 1～5T；右上図赤矢印間）の水温断面図によると、Sta. 3'～4'の観測点の間の海底から直上10mくらいの厚さで10℃以下の冷水（左上図で影を付けている領域）が確認されました。

この海底付近の冷水は、あまだいなどの底魚の棲息には適しません。冷水付近での操業は控えた方がよいと考えられます。

【萩-見島フェリー観測の表層水温】



11月下旬の萩沖の表層水温は、平年に比べ高め(+0.7～+1.1℃)で推移しながら、ゆるやかに下降しました。11月30日には20℃を下回り、12月に入ってから19℃台で推移しています。12月6日の水温は19.3℃で、平年に比べ1.3℃高め、前年に比べ1.0℃高めでした。

福岡管区気象台12月1日発表の九州北部地方（山口県含む）の1ヶ月予報によると、12月の気温は平年並み～高めで経過する確率が高いので、萩沖表層水温も12月はこのまま高め傾向で推移すると考えられます。